

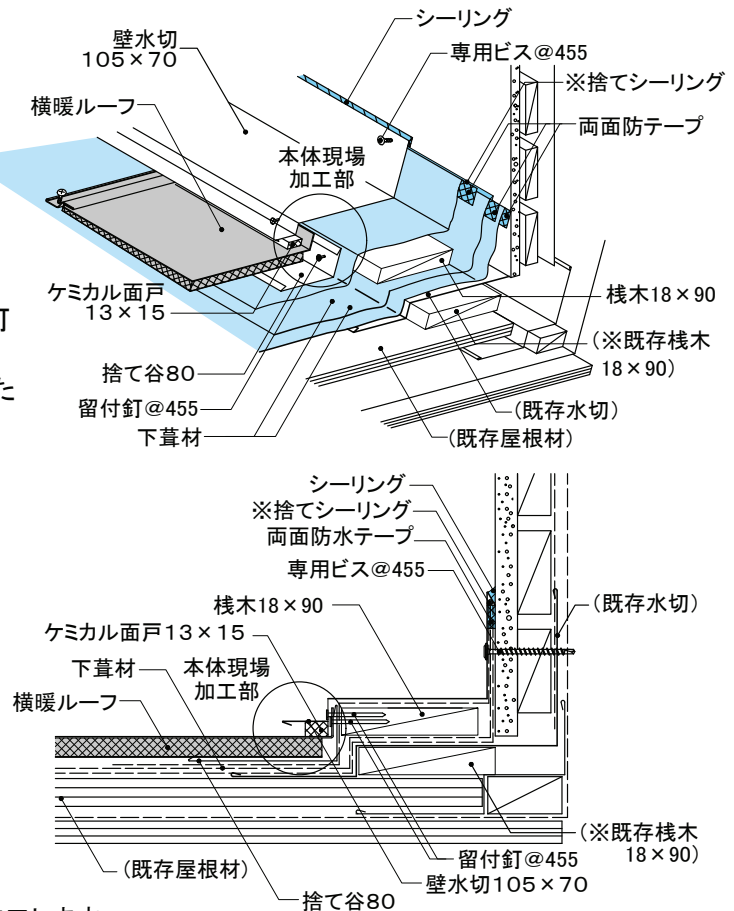
横暖ルーフ

工法	既存屋根材
重ね葺き	セメント系新生瓦 アスファルトシングル

9) 下屋根部 (既存水切を残す場合)

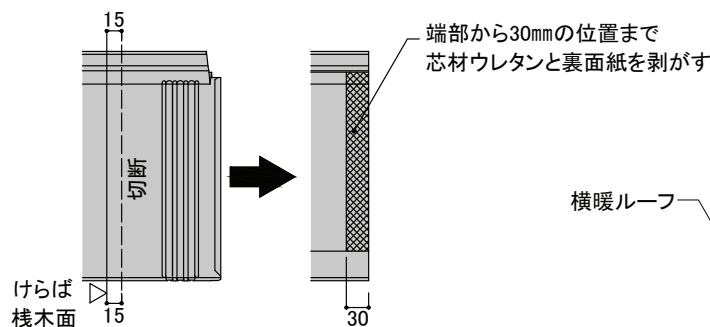
①流れ側 壁水切105×70+捨て谷80

- 既存桧木が健全な状態であるか事前に確認してください。
- 既存屋根材に、下葦材を張ります。
(下葦材の壁止まり部は必ず既存壁まで立ち上げ、両面防水テープで留めます。壁水切105×70取り付け前に捨てシーリングを施工します。)
- 桧木18mm×90mmを取り付けます。
- 捨て谷80は留付釘(ステンレススクリー釘 長さ32mm以上)を用いて455mm以下の間隔で桧木に留め付け、図のように加工した横暖ルーフ本体を施工します。
- ケミカル面戸13×15を図のように貼り付け、壁水切105×70をかぶせるように施工します。既存壁には専用ビス(ステンレスドリルビスφ4.4mm×55mm)、桧木には留付釘(ステンレススクリー釘 長さ32mm以上)を用いて、それぞれ455mm以下の間隔で留め付けます。
- 壁水切上部にはシーリングを施工し、止水処理を行います。

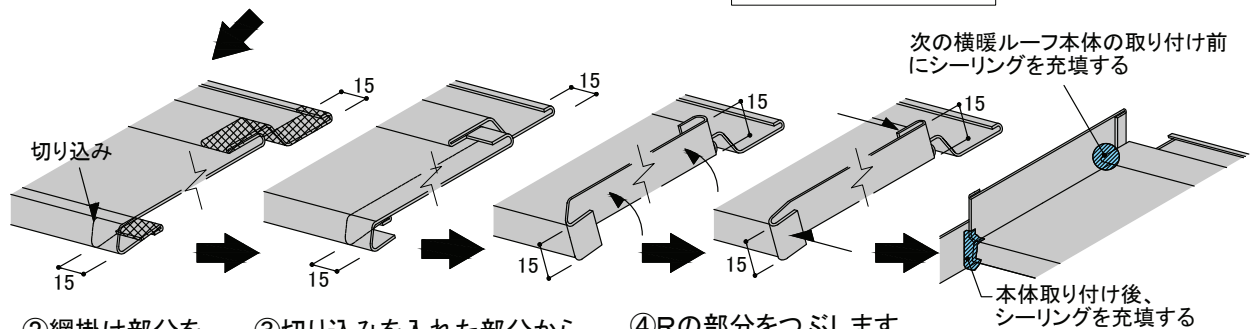


■施工ポイント・現場加工図

- 横暖ルーフ本体の壁付部分は、図のように加工します。



①けらば桧木面から図の寸法で切断します。



②網掛け部分を切り落とします。

③切り込みを入れた部分から垂直に起こします。

④Rの部分をつぶします。

⑤接合部からの雨水の浸入を防ぐためシーリングを充填します。

設計
外壁リフォーム

事前調査の方法

標準施工法
外壁リフォーム

モエンサイディング
重ね張り工法

モエンサイディング
張り替え工法

センターサイディング
重ね張り工法

設計
屋根リフォーム

センターリーフ
重ね葺き工法

アルマ
重ね葺き工法

参考資料